

平成31年度 実務処理能力向上研修「災害復旧講座（基礎編）」 ～ 報告書 ～

《日時》令和元年6月6日（木）

《場所》講習会場 東広島市役所黒瀬支所 南庁舎5階 第2会議室（東広島市黒瀬町丸山1333番地）

現場実習 二級河川 黒瀬川水系 東長谷川「桑畑橋下」災害復旧工事（呉市郷原町大字ワラビ山字桑畑）

《日時》令和元年6月26日（水）

《場所》講習会場 西部建設事務所東広島支所 会議棟2階 会議室（東広島市西条昭和町13-10）

【1日目】：令和元年6月6日（木）

《開会挨拶》10:00～10:05

主催者：（一社）広島県土木協会 技術部長 坪浦伸泰

《オリエンテーション》10:05～10:10

説明：（一社）広島県土木協会 技術部職員

《講演》「災害復旧事業について」10:10～11:30

講師：広島県土木建築局技術企画課 事業調整G 主任 古賀洋平 氏



《説明》「現場実習内容の説明」11:35～12:00

説明：（一社）広島県土木協会 技術部 主査 超善寺 崇



《説明》「現場実習内容の説明」13:30～13:50

説明：（一社）広島県土木協会 技術部職員

《講義》「災害復旧事業に伴う二重採択防止に関する注意点について」13:30～13:50

講師：東広島市役所建設部災害復旧推進課 事業推進第2係 係長 小田浩司 氏

《実習》「班別実習」13:50～15:50

（1班）講師：広島県土木建築局 技術企画課 事業調整G 主任 古賀洋平 氏

（一社）広島県土木協会 技術部 工事監理業務嘱託員 島川誠司

（2班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主査 超善寺 崇

（3班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主任 小川裕貴

（4班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主任 澤田敬文



（現場実習の状況）



【2日目】：令和元年6月26日（水）

《オリエンテーション》 10:00～10:05

説明：（一社）広島県土木協会 技術部職員

《説明》：「査定設計書作成概要説明」 10:05～10:20

説明：（一社）広島県土木協会 技術部 主査 超善寺 崇

《演習》：「査定設計書作成演習」 10:20～16:10

（1班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 工事監理業務嘱託員 島川誠司

（2班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主査 超善寺 崇

（3班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主任 小川裕貴

（4班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主任 澤田敬文

（現場実習の状況）



《講評》：「査定設計書作成に伴う留意点について」 16:10～16:30

《質疑応答》：「質疑応答」

説明：（一社）広島県土木協会 技術部 主査 超善寺 崇



《閉講》 16:30～

主催者：（一社）広島県土木協会 技術部長 坪浦伸泰



## 平成31年度 実務処理能力向上研修「災害復旧講座（基礎編）」実施要領

### 1 目的

災害復旧制度や、災害査定設計書の作成など、災害復旧実務に関する基礎知識等を習得することにより、災害復旧業務に関する処理能力の向上を図る。

### 2 日程

令和元年6月6日（木）・7日（金） 2日間

### 3 研修会場

#### (1) 講習会場（集合場所）

東広島市役所黒瀬支所 南庁舎5階 第2会議室（東広島市黒瀬町丸山1333番地）

#### (2) 現場実習会場

二級河川 黒瀬川水系 東長谷川「桑畑橋下」砂防施設災害復旧工事（呉市郷原町大字ワラビ山字桑畑）

※ 第1日目：6月6日（午後）

### 4 研修科目・内容及び講師

別紙-2「平成31年度 実務処理能力向上研修「災害復旧講座（基礎編）」時間割」のとおり

### 5 参加者等

別紙-3「平成31年度 実務処理能力向上研修「災害復旧講座（基礎編）」参加者名簿」のとおり

### 6 アンケート

今後の参考とするため、別添「アンケート調査票」によりアンケート調査を実施することとし、講義終了後に回収します。

### 7 その他

1日目の解散場所については、現場実習会場を予定しております。ご承知おきください。

### 8 問い合わせ及び担当

（一社）広島県土木協会 技術部 甲斐，島川

電話 082-541-3760 FAX 082-544-7620

※注意※ ・やむを得ない都合により、時間割り等を変更する場合があります。

## 平成31年度 実務処理能力向上研修「災害復旧講座（基礎編）」時間割

【1日目】：令和元年6月6日（木）

	時間	科目	内容	
会議室	9:45	《受付》		
	10:00	《閉会挨拶》 主催者：（一社）広島県土木協会 技術部長 坪浦伸泰	主催者挨拶	
	(10分)	《オリエンテーション》 進行：（一社）広島県土木協会 技術部職員	研修概要と研修の進め方等の説明	
	10:10	《講義》：「災害復旧事業の概要について」 講師：広島県土木建築局技術企画課 事業調整G 主任 古賀洋平氏	災害復旧事業の制度や災害査定設計書の作成など、災害に関する基礎的事項をはじめ、「美しい山河を守る災害復旧基本方針」等について解説する。	
	(60分)	《小休憩》		
	11:20	《説明》：「現場実習の概要説明」 説明：（一社）広島県土木協会 技術部 主査 超善寺 崇	午後から行う現場実習について実習内容を説明する。	
	(40分)	《昼食》		
実習現場	13:00	《移動》		
	13:30	《説明》：「現場実習の内容説明」 説明：（一社）広島県土木協会 技術部職員	資材配付（ポール、リボンテープ、カメラ etc） 現場実習注意事項説明し、模範演技を行う。	
	(20分)	13:50	《講義》：「災害復旧事業に伴う二重採択防止に関する注意点について」 講師：東広島市役所建設部災害復旧推進課 事業推進第2係 係長 小田浩司氏	農地・農業用施設災害復旧事業及び公共土木施設災害復旧事業に伴う二重採択防止に関する注意事項について解説する。
	(120分)	《実習》：「班別現場実習」 （1班）講師：広島県土木建築局技術企画課 事業調整G 主任 古賀洋平氏 （一社）広島県土木協会 技術部 工事監理業務嘱託員 島川誠司 （2班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主査 超善寺 崇 （3班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主任 小川裕貴 （4班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主任 澤田敬文	復旧工法の検討（概略） 起終点の決定・被災延長の測定及び接写、 ポール横断測量および写真撮影、 見取り平面図の作成、仮設道路等仮設工の検討、etc	
	15:50	《現場の片づけ》		
	16:00	《連絡事項》《解散》 カメラ回収・連絡事項伝達 《解散》		

【2日目】：令和元年6月26日（水）

	時間	科目	内容	
会議室	9:45	《受付》		
	10:00	《オリエンテーション》		
	(20分)	《説明》：「査定設計書作成概要説明」 説明：（一社）広島県土木協会 技術部 主査 超善寺 崇	査定設計書作成の作業内容を説明	
	10:20	《演習》：「査定設計書作成演習」 （1班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 工事監理業務嘱託員 島川誠司 （2班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主査 超善寺 崇 （3班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主任 小川裕貴 （4班）講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主任 澤田敬文	撮影写真の整理 A・B及びC表をもとに復旧工法の選定、 図面（平面図・横断面図・展開図）の作成、 仮設工の検討、数量計算書の作成、etc	
	(100分)	12:00	《昼食》	
	13:00	《演習》：「査定設計書作成演習」つづき 講師：同上	数量計算結果を基に総合単価表を用いて直接工事費の算定を行う。	
	(180分)	《解説》：「査定設計書の作成について」 講師：（一社）広島県土木協会 技術部 主査 超善寺 崇	直接工事費から申請工事費を算出する方法と査定設計書表紙の作成について解説する。	
	16:10	《講義》：「査定設計書作成に伴う留意点について」 講師：広島県土木建築局技術企画課 事業調整G 主任 古賀洋平氏	「美しい山河を守る災害復旧基本方針」等に基づき作成する査定設計書の留意点について解説する。 また、研修全般に関する質問等について解説する。	
	(20分)	《閉会挨拶》 主催者：（一社）広島県土木協会 技術部長 坪浦伸泰	主催者挨拶	
	16:30	《解散》		

※注意※・やむを得ない都合により、時間割り等を変更する場合があります。

## 平成31年度 実務処理能力向上研修「災害復旧講座（基礎編）」アンケートとりまとめ

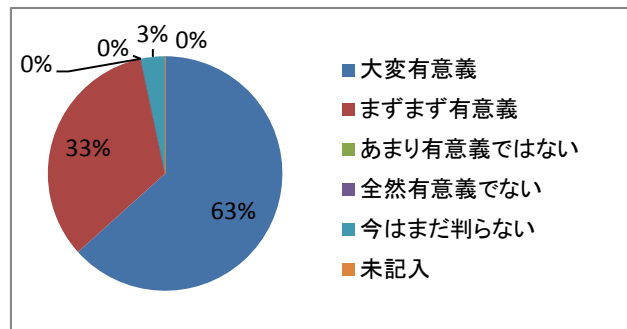
### ☆ 平成31年度 基礎知識習得研修 ☆

①「災害復旧講座（基礎編）」 開催日：令和元年6月6日（木）・令和元年6月26日（水） 2日間

申込者数： 32人 受講者数： 32人 アンケート調査票提出者数： 30人

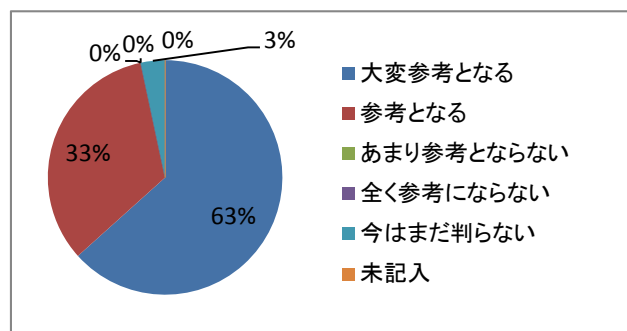
1 今回の研修は有意義だったと思いますか。次の1つに○をして下さい。

①	大変有意義	19人	63%
②	まずまず有意義	10人	33%
③	あまり有意義ではない	0人	0%
④	全然有意義でない	0人	0%
⑤	今はまだ判らない	1人	3%
⑥	未記入	0人	0%
		30人	



2 今後の実務の参考となるとと思いますか。次の1つに○をして下さい。

①	大変参考となる	19人	63%
②	参考となる	10人	33%
③	あまり参考とならない	0人	0%
④	全く参考にならない	0人	0%
⑤	今はまだ判らない	1人	3%
⑥	未記入	0人	0%
		30人	



3 研修運営上の意見を記入して下さい。※例えば、研修会場、開始終了時間、休憩など

- ・もう一日時間をとって良いのでは。
- ・持参物が抑えられるようにして欲しいです。
- ・会場のエアコンが効きすぎて寒かった。
- ・良いと思う。

4 その他研修全般についての自由な意見を記入して下さい。

- ・ありがとうございました。
- ・班での演習の際、質問したことに対して分かりやすく説明してくださって、はっきりしたことも多々ありました。良かったです。
- ・初めてのことばかりだったので、為になりました。

5 研修科目についての自由な意見を記入して下さい。

《研修科目の分類毎の評価》

研修科目名	理解度		関心度		講義時間		
	高い	低い	高い	低い	長い	良い	短い
《講義》：「災害復旧事業について」	70%	30%	90%	10%	0%	80%	20%
《説明》：「現場実習概要説明」	77%	23%	87%	13%	0%	87%	13%
《説明》：「現場実習内容の説明」	80%	20%	90%	10%	0%	87%	13%
《実習》：「班別現場実習」	77%	23%	87%	13%	3%	80%	17%
《説明》：「査定設計書作成概要説明」	70%	30%	93%	7%	0%	90%	10%
《演習》：「査定設計書作成演習」	63%	37%	93%	7%	3%	70%	27%
《解説》：「査定設計書の作成について」	63%	37%	97%	3%	3%	77%	20%
《講義・質疑応答》：「査定設計書作成に伴う留意点について」	63%	37%	83%	17%	0%	77%	23%
	70%	30%	90%	10%	1%	81%	18%

【参考資料】研修科目別アンケート調査の結果集計表（割合※）

- ※「理解度」は4段階を2段階（「とても良く理解できた」「だいたい理解できた」を高い、「少し難しかった」「全く分からなかった」「未記入」を低い）に集約集計した。
- ※「関心度」は4段階を2段階（「たいへん興味深かった」「少し興味が持てた」を高い、「あまり興味が持てない」「全然興味が無い」「未記入」を低い）に集約集計した。
- ※未記入及び未提出分の取り扱いについて、「理解度」及び「関心度」について、「低い」と読替えカウントを行った。ただし、「講義時間」については集計から外した。

◇◇◇ 具体的意見や感想 ◇◇◇

《講義》：「災害復旧事業について」

- ・自分も今、災害復旧に携わっている所以勉強になった。
- ・災害が起きた時に、どういった流れで動くのかを知れて良かったです。
- ・説明のスピードが早く、理解が追いつかない。また、各用語についても初めて聞く言葉が多く、解説があれば良かった。
- ・災害復旧について、知識を身に付けることができ、良い講義だった。
- ・事例を見ながらの説明が具体的で分かりやすかった。
- ・具体的な内容だったので、とても為になった。
- ・災害復旧事業の大まかな流れ、制度が分かりやすく説明されて良かったです。
- ・今までで一番勉強になりました。
- ・災害復旧事業の流れを知ることができた。
- ・災害復旧として工事するのに金額の縛りがあることが分かった。
- ・査定の概要が綺麗にまとまって、分かりやすかった。
- ・災害復旧事業がどのように行われているか、軽く理解することができた。
- ・復旧事業の概要が分かり、今後に生かした。
- ・分かりやすく説明がなされた。
- ・昨年初めて災害査定設計書を作成したが、言われるがまま作り、あまり分からなかった。今回の研修で作成時に言われた事が分かりました。

《説明》：「現場実習概要説明」

- ・現場を見ることの大切さを知った。
- ・概ね理解できた。
- ・現場位置図資料が分かりづらかったが、他は分かりやすかった。
- ・予め実習の説明を受けたことで、実習の際、各作業がイメージしやすかった。
- ・どのような事をすれば良いか理解できた。
- ・写真が分かりやすかったです。
- ・今までで一番勉強になりました。
- ・実習で何をするのか、説明を受けた。
- ・設計書に必要な書類があることが分かりました。
- ・測量方法を学ぶことができて良かった。
- ・コンサルがやっていることを学べたので、色々な見方が出来ればと思います。
- ・分かりやすく説明がなされた。
- ・昼からの実習で何をするか、どのようにするかを分かりやすく説明していただいて、昼からの実習がやりやすかった。

《説明》：「現場実習内容の説明」

- ・よく分かった。
- ・写真撮影時の注意点が分かった。
- ・概ね理解できた。分かりやすかった。
- ・初めて行う作業であったため、とても勉強になった。講師の方の説明が分かりやすかった。
- ・効率よく測量するやり方が分かった。
- ・実際に行っている手本が有り、分かりやすかったです。
- ・今までで一番勉強になりました。
- ・写真を撮る際のポイントを知ることができた。
- ・現場でどのような写真を撮れば良いのか、どのような所を測量すれば良いのか分かりました。
- ・よく分かった。
- ・実際に現場測量のポイントを知れて、気を付けて写真や測量をとって行こうと思う。
- ・分かりやすい説明でした。
- ・分かりやすく説明がなされた。
- ・概要説明と同じく、分かりやすく説明していただき、実習がやりやすかった。

《実習》：「班別現場実習」

- ・ポール横断を初めてやったので、いい経験になった。
- ・初めてポール測量を経験し、実習を通し、良く理解できた。
- ・実際に測量したのは初めてだったので、一からよく分かった。
- ・グループでの少数実習だったので、質問などしやすかったです。
- ・今までで一番勉強になりました。
- ・測量機器を直接触れることができて良かった。
- ・起点、終点の決め方が分かりました。
- ・初めての作業経験となり、大変有意義だった。
- ・災害発生要因を確認し、現地調査を進めたいと思う。

《実習》：「班別現場実習」（つづき）

- ポール、スタッフ、レベルの扱い方、カメラの撮り方等、実用的な内容が多かった。
- 経験することによって、良く理解できた。
- 実際の測量を体験することができた。
- 測量は慣れていないので、うまく行かなかった。
- 流れについて理解できました。
- 災害現場を用いて実習できることは感覚が養えるため、とても良い。
- この度の災害で現場作業は行っていたが、やった事のないものもあり役に立つと思いました。
- 農林災と公共土木施設の災害を比較することができ、理解が深まった。
- なかなか説明を聞くことが無いので、ちょうど良い機会だった。
- 農地といっても、土木と共通な部分があることを知りました。
- 農地、農業用施設等の災害復旧事業の流れを把握できたので、今後の業務に活かしたい。
- 農地、農業施設等の災害について、道路、河川の復旧とは少し違うということが理解できました。
- 農地災は民地を直すものなので、難しさを感じた。
- とても理解しやすい講義内容で、災害についてほとんど無知だったが、流れなどを理解できた。
- 農地災はあまり関わりがなかったので、少し難しい部分もあった。
- 私用地での復旧でも、公共施設と同じように査定で復旧できることが分かった。
- 公共土木施設の災害と異なる点が聞いて良かったです。
- 公共施設災害の現場しか見ておらず、どのように対応されたのか分からない点がありましたが、まずは知識の方から集めていこうと思いました。
- よく理解できた。
- 公共施設災害復旧との違い等について知ることができ良かった。
- 農地の原形復旧は肥土を入れることまでは出来ないのか気になりましたが、40万円以上は対象となるということに驚きました。
- 農地ならではの施工方法や流れを知ることができたので良かった。

《説明》：「査定設計書作成概要説明」

- 実際に行う作業を分かりやすく説明頂き、演習がスムーズに行えた。
- 参考になりました。
- 実際に査定設計書を作成するポイントが分かって良かった。
- 流れを理解できた。
- 非常に勉強になった。
- 分かりやすかったです。
- 査定設計書はまだ作ったことがないので、実際作成する際、参考にしたい。
- 参考になる部分が多くありました。
- よく分かった。

《演習》：「査定設計書作成演習」

- 図面を作る事をコンサルにお願いする事が多いので、とても勉強になった。
- 参考になりました。
- 大体の流れを知ることができ、有意義でした。
- 図面を書いて、数量に起こすのが時間がかかった。



《演習》：「査定設計書作成演習」（つづき）

- 難しかった。
- 実際に現場に行っていないのでイメージが付き難かった。
- もう少し時間が必要かなと感じた。
- 水道建設に所属しているため土木用語の理解が少なく、分からないことが多かったり、基準書の見方が分からなかったため、時間がかかった。2日ではなく、3日ほしいと思った。
- 次はCADで作成したい。
- 図面作成について、基本から理解していなければ時間を要するので、最低限の知識を身に付けて行きたい。
- 全体の流れをつかむことが出来た。
- 数量の解答を知りたかった。
- CADは便利だなと改めて思った。
- 非常に勉強になった。
- 細かい決まりや地方毎での決まりもあり、気をつけなければと思いました。
- 手で書くため時間がかかりましたが、理解しやすい演習だと感じました。
- 写真の繋ぎ方、撮り方の注意点を理解できた。
- 査定設計書は書く事が沢山あり、一つでも忘れていたらダメなので、丁寧に作成したい。
- 計画の細かい点まで、実際に演習を行うことで考えることが出来た。
- 少し難しい部分があった。もう少し詳細が記載されたテキストがあれば良かった。
- 測量成果を実際にまとめるのはイメージしやすく、分かりやすかった。
- 実際に自分で図面等を描くことで理解が深まりました。
- 図面作成時間より、設計書の作成に時間が欲しい。
- 難しかった。

《解説》：「査定設計書の作成について」

- とても難しかったが大変ためになった。
- 参考になりました。
- 分かりやすい解説でした。
- 公共の設計書と林や農では、様式が違って興味を沸かした。
- 勉強不足で基礎知識がなく、全くついて行けなかった。
- もう少し時間が必要かなと感じた。
- 非常に勉強になった。
- 全て理解することが出来なかったため、解答を参考に勉強して行きたい。
- 勉強になった。

《講義・質疑応答》：「査定設計書作成に伴う留意点について」「質疑応答」

- あまり携わることがなかったので、色々気をつける点を教えていただき、大変勉強になった。
- 参考になりました。
- 難しかった。
- 実際の検査官からの指摘、〇〇〇千円みたいな、実務的なことを聞けて、とても為になった。
- また電話しますので教えてください。
- 実際の設計書は種類が多く、難しいものと感じました。
- 作業が追いつかず、聞き漏らしていたため不明。

6 あなたが今後参加してみたいと思う研修項目を次の中から3つ選び、「〇」を付けて下さい。(総計)

